
山田のオヤジ

ふにににに

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

山田のオヤジ

【Nコード】

N2934Q

【作者名】

ぶにににに

【あらすじ】

山田のオヤジはさえない社会人。妻と娘に逃げられた彼の唯一の楽しみとは、満員電車での可愛い子ちゃんウオッチングだった。R指定をするほどではないのですが、非常にゲスな表現があります。閲覧は気をつけてください！

山田のおヤジ。今年で五十六歳。今日も満員電車に乗って出勤しています。家族構成は妻とギャルの娘が一人。ちなみにその構成は過去形で、妻はいつの間にか知らない男とどこかへ消え、ギャルの娘も妻についていくような形で居なくなっていました。

つまり、彼の2LDKの家には彼一人しかいないわけでありまして、しかし、妻とギャルの娘の部屋はそのまんま。妻の部屋は韓国俳優のヨ 様のグッズが大量に有り、ギャルの娘の部屋のドアには『おヤジ禁止』という貼り紙がありました。そして、2LDKの二つの部屋は妻と娘に支配されているため、山田のおヤジには自室がありません。トイレだけが彼の居場所であり、彼の味方なのです。

そんな山田のおヤジの唯一の楽しみは、出勤中の人間観察です。

(うへへへ……今日も可愛い子乗ってないかなあ……)

がたん、ごとん、と揺れる電車の中。彼はギラギラした目付きでカワイ子ちゃんウォッチに夢中になってます。

……おっ！ この目は何かを見つけたような目だ！ ギラギラした目付きの後に、だらんと目じりが下がるのが、何かを見つけた目印です。

山田のおヤジの視線の先には……若々しい女性が居ました。金髪で少々ガラは悪いけれど、かなりの美人です。短いスカートから伸びる白い足がたまらない。そして視線を徐々に上げていく。すると、胸の辺りで視線が固定されました。

(うへっ！ うへへっ！ ありやくDはあるなっ！！ うひゃっ！
！ 大物だあっ！！)

あの胸を触ったら……と考えるだけで、山田のオヤジのボルケー
ジはMAXです。彼の股間が今にもマダンテを放ってしまいそうで
した。

(胸は流石にまじいな……。うひっ！ お尻なら気付かないだろう
っ！！)

山田のオヤジとピッチピチの女性の距離は割と近かった。山田の
オヤジは手をそっと伸ばし始めます。それはさながら、はぐれメタ
ルに近づくドラクエの主人公のように慎重に……。
そして、彼の手が柔らかな肉に触れた瞬間！

(うっ……！)

彼はマダンテを放ってしまいました。そして、彼になんとも言い
がたい脱力感が訪れます。

(ティッシュが欲しいな……。でも無いからコイツのパンツでも使
うか……)

山田のオヤジはなんと、女性のパンツを脱がしにかかったのです。
しかし、山田のオヤジは冷静になって考えました。

(コイツ……パンツを脱がしたら絶対気付くよな……？ そうだっ
！！俺が脱げばいいのかっ！)

山田のオヤジはついにぴらめきました。すると山田のオヤジはこ
そごと自分の下半身をいじくり始め、

(今日はブリーフだから大丈夫！！)

何が大丈夫なのかはわかりませんが、山田のオヤジのチャックからひよっこりとむき出したバナナが飛び出てきました。

（やった！ 成功したっ！！ あとはコイツのパンツになすりつけるだけ……）

山田のオヤジは嬉々として、女性のスカートをめくり上げました。そして、自らの口トの剣を女性の下着に押し付けます。

すゝりすり、すゝりすり……山田のオヤジはハアハアいいながら下半身を器用に動かします。この行為を何度か繰り返し返したところで、女性のパンツはびちゃびちゃになってしまいました。

（あれね？ ふいてもふいてもお汁がでてきちゃう……）

それもそのはず！ なぜなら、山田のオヤジは再び興奮してきてしまったのです。早くて回復力が凄い！ それが山田のオヤジという男なのであります。

山田のオヤジは下半身を動かすことに夢中になり、ついに穴の中にホームランを打ちたくなってしまいました。すると、女性が何か異変に気がつきました。

「……う、うわあっ、何これ！？ パンツがびちょびちょっ！！ キヤーッ！！ マジでキモイッ！！」

後ろを振り向き、山田のオヤジの手を掴みました。山田のオヤジは動きを未だにやめません。

「やっ、やめてよ！ なんなのよアンタ！」

「ボクは痴漢だよ……フヒヒ！」

「そんなの見ればわかる！ やめなさいよ！」
「『らめえ……私、妊娠しちゃうよお……』っていつならやめてやる！」

山田のオヤジは想像以上のゲスでした。

「……ううっ、だ……誰か、助けてくださいっ！！ ここに痴漢がいます！！！」

女性が急に大声を上げ、助けを求め始めました。

……その時、山田のオヤジの脳裏に、過去の記憶がよみがえります。

お父さんキモい！

それは、かつて家を飛び出した娘の言葉。女性の声は、娘の声にとても似ていました。

そして山田のオヤジは彼女の顔を見つめます。

「お、お前は……！」

茶色がかった黒髪を金色に染め、可愛らしい顔にはいかにもギヤルって感じの厚化粧をしていたため、すぐにはわからなかったのですが、まじまじと見たらわかりました。

彼女は、山田のオヤジの、娘です。

「……えっ？ ……お、お父……さん？」

やっぱり彼女は彼の実の娘 山田 唯、でした。

「唯……やっぱり、唯かつ！！」

山田のオヤジはとても嬉しくなりました。

「お父さん……髪……薄くなったね……」

「お前……唯は……わがままボディになったな……」

感動の再会、といたいたいところですが、もう痴漢認定を受けてしまったので、山田のオヤジはそこらへんのサラリーマンによって警察に連れていかれました。

そして唯はびちよびちよのパンツのまま、オヤジへの嫌悪を強めましたとさ！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2934q/>

山田のオヤジ

2011年1月26日11時25分発行